

矢部高校通信

文責：校長

「継承肥後の石工」



林業科学科2年生は、ものづくりマイスター派遣事業の一環として、国宝「通潤橋」を始めとした緑川流域に点在する伝統的建造物「石橋」の歴史と文化や施工技術を学びました。伝統文化を継承し石橋の保存と技術の継承を行うことができる人材の育成も目指しています。生徒たちは、通潤橋の歴史を知り、正確に石を割る技術を目の当たりにしながら真剣に取り組んでいました。

公開授業



今年度2回目の公開授業です。1年生は「総合的な探究の時間」の中間報告との位置付けで行いました。県立大学の先生にもお越しいただきました。中学校の先生方も参観に来られました。授業の様子を見ていただくことは生徒にとっても、職員にとっても、お互いの授業を参観することで大きな刺激になります。もっと多くの方々の来校を願います。

「小さな親切運動」表彰



公益社団法人「小さな親切」運動本部が主催し、熊本県本部は熊本銀行が“青少年の豊かな心づくり”を目標に『小さな親切』実行章の推薦と贈呈を行っています。今回「山都町棚田復興プロジェクト」において、食農科学科の1年生が夏休みに毎年取り組んでいる水路の清掃ボランティア活動を推薦いただき受賞することができました。この日は、熊本銀行浜町支店長が来校され、この取り組みの主旨を説明いただき、代表して食農科学科の谷川さんへ手渡しされました。

長距離走大会



長距離を走る意味は、①長距離走を積極的に取り入れることで、全生徒の体力向上を図ることができること。②持久力の向上で集中力が高まり、運動面だけではなく学習面への効果も期待できること。③自分の体力レベルに合った目標や課題が設定できることで、課題達成力を養うこと。④走る人も応援する人もお互いに共感できること。とありました。生徒それぞれが目標を持ち真剣でした。育友会の皆様には、寒い中でしたが、中継地点での声援や完走後にいただく豚汁の調理など、生徒たちが前向きに取り組めるようにご協力いただきました。心から感謝いたします！

学校農業クラブ校内役員改選



学校農業クラブ全国大会の運営も無事に終え、いよいよ次の世代にバトンタッチの時期が来ました。学校農業クラブは、農業関連学科で学ぶ生徒を中心とした校内組織、県内11校の熊本県連盟、→九州連盟→日本学校農業クラブ連盟の全国組織へと繋がっています。全国で7万5千人のクラブ員がいます。今回は、校内の学校農業クラブ会長、副会長が選出されました。会長には、食農科学科2年の大濱さん、副会長には、食農科学科2年の西本さんと食農科学科1年の谷川さんとなりました。おめでとう！！

アジア農業シンポジウム



このシンポジウムは、アジア諸国における食料・農業問題をアジア全体で考えていくため農業分野の研究活動の成果を共有し、研究者間の交流を深めることを目的として実施されています。本校からも2つのグループがポスター発表として参加し、東海大学の先生方にもプレゼンしていました。大人に説明するのは緊張しますが、頑張りました。

教科「情報」グループワーク



これからの社会生活では、情報をいかに収集し活用していくかが問われます。高校でも教科「情報」は必須です。普通科1年の授業では、グループワークで他の班の情報も収集・分析し、タブレットを使い共同作業をしながら活用方法を深める授業に取り組んでいました。このような授業ができるように、職員も常にICT教育を推進できるように自己研鑽に取り組んでいます。しかしながら、個人差もあり習得には時間もかかりますが、頑張っています！